

iCentral および iCentral Client

クリーニングについて

ユーザーマニュアル(M1184642)「クリーニングと手入れ」より抜粋

## 16 クリーニングと手入れ

**警告：**

クリーニングの前に、プログラムを終了し、機器を電源から取り外してください。機器は電源へ再度接続する前に完全に乾燥させてください。

**警告：**

クリーニングの後は、システムのすべての部分が乾いていることを確認してから電源に再度接続してください。

**警告：**

誤って液体が本システムや部品に入ってしまった場合は、電源コードを電源から取り外し、弊社認定技術者にサービスを依頼してください。

**警告：**

高電圧に注意してください。ストリップチャートレコーダおよびその他機器の内部構成部品には高電圧がかかっています。カバーを取り外さないでください。

**注意：**

システムのいかなる部品も加圧蒸気滅菌（オートクレーブ）にかけたり、あるいはエチレンオキサイドで滅菌しないでください。

**注意：**

液体に浸さないでください。また内部に液体が入らないようにしてください。万が一そのような状況が発生させた場合は、直ちに弊社技術者までご連絡ください。

注：次亜塩素酸、アセトン、フェノール、アンモニア系のクリーナー、研磨剤、あるいは強力な化学薬品は、機器の表面を損なう可能性があるため使わないでください。

## クリーニング

時々機器をクリーニングしてください。

- 機器の外側表面に埃や汚れが付かないようにしてください。
- すべての表面を、刺激の少ない病院用洗剤を湿らせた、糸くずのでない布で拭いてください。
- 電源へ再度接続する前に完全に乾燥させてください。
- ディスプレイについては、ディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- プリンタについては、プリンタの取扱説明書を参照してください。

## 予防メンテナンス

少なくとも 1 年に 1 回は、予防メンテナンスを実施することをお勧めします。ただし、サービスやシステム部品を交換した場合は、随時、予防メンテナンスを実施する必要があります。

注：クリーニング時に、PC のボリュームコントロールに触れたり、スピーカのスイッチを誤ってオフにしたりしないでください。

次に挙げたのは、ユーザが実施可能な予防メンテナンス作業です。

- セントラルモニタのすべての構成部品が汚れていないことや、損傷を受けていないことを確認してください。冷却エアーの給気口や排気口が塞がっていないことを確認してください。
- すべてのケーブルが固定されていることを確認してください。電源ボックスが汚れていないことや、損傷を受けていないことを確認してください。
- クリーニング後に機器を電源に再度接続したら、システムが正常に起動することと、すべてのモニタがネットワークに登録されることを確認してください。
- システムの時計が正確な時間を表示していることを確認してください。再調整が必要な場合は、弊社認定技術者にご連絡ください。

注：予防メンテナンスには、認定技術者だけが実施できる作業も含まれます。サービスおよびメンテナンス作業の全リストについては、『iCentral Technical Reference Manual.』を参照してください。